

「佐久市公共施設等総合管理計画」改訂方針及び「個別施設計画」素案に係る
パブリックコメントでの意見と市の考え方

1 意見募集の概要

- (1)意見募集期間 令和3年7月26日(月)から10月12日(火)までの79日間
 (2)案の公表方法 佐久市ホームページへの掲載、佐久市役所本庁市民ホール、企画課、各支所総務税務係窓口に関覧用として設置
 (3)意見募集方法 郵送、電子メール、ファックス、直接持参(佐久市役所本庁企画課)

2 意見募集の結果 提出された意見 18件

No.	意見の種類	意見	市の考え方
1	図書館	<p>○図書館について増床を強く希望します。 作家の沢野ひとしさんが「本の雑誌 7月号」にこのような文章を寄稿されていました。 「(略)この十年間は高い山に登らず、もっぱら信州の里を歩いている。村の文化や歴史に興味が移ってきた。つい最近南佐久郡の「佐久穂町図書館」にふらりと寄ったが、施設の立派さと所蔵されている本の数、質の高さに感激してしまった。働いている人の力量を感じた。」(本の雑誌2021年7月号 P134) 図書館はその地域の文化を図る「顔」でもあると思います。 佐久市の図書館は佐久穂町、軽井沢町、御代田町、小諸市、上田市と、バリアフリーも考えられた使いやすく機能的な図書館に比べると古いのは仕方ないにしても、棚も少なく、通路も狭く見劣りしているように思えます。 そんな中、さらに中央図書館が改築にあたり減床の予定と聞き、とてもとてもがっかりしています。 昨今、「こどもの居場所」としての図書館、また情報センターとして乳幼児からご年配の方まで生涯学習として図書館の機能が注目されているところ、逆行しているようですごく残念です。 佐久市は移住者を広く受け入れており、若い移住希望者に魅力を発信するひとつとして保育園、小中学校にあわせて教育の充実をかかげる「図書館」もぜひ入れてほしいです。 地域の住人の『一番身近な文化施設』としてふさわしい、広々とした使い勝手の良いこれからの情報社会に対応する、蔵書数も多い大きな図書館の建設を望みます。 改築に合わせてお願いしたいことがあります。 中央図書館にあるパソコンで「信濃毎日新聞データベース」で時々調べ物をさせていただいておりますが、パソコンが古く立ち上がりがとても遅くて使いにくいです。 ぜひ、新しいパソコンの導入もお願いします。台数も増やしてください。 また、閲覧席で自分のスマホでの検索もできるようにWi-Fiも整備していただけたらありがたいです。 カウンターでレファレンスをお願いすることがありますが、スタッフのみなさまが親身になって対応してくださっていることに感謝していますので、このような充実したカウンターサービスは今後も継続してください。</p>	<p>○いただいたご意見は、事業を検討する中で参考とさせていただきます。 中央図書館が建設された昭和54年当時は、ユニバーサルデザインの考え方がまだ浸透しておらず、書架の間隔が狭い設計となっています。 図書館は、生涯を通じて健康で生きがいのある人生を過ごし、自己実現を図ろうとするときに、様々な情報や学習機会を提供する生涯学習のための重要な場であると認識しています。 今後、広く皆様のご意見を伺いながら必要な機能を精査し他の施設との複合化も含め、市民の皆様が利用しやすい図書館づくりを検討していきたいと考えています。 また、対応が可能なものは、建て替え前であっても対応していきたいと考えています。</p>
2	図書館	<p>○今回出されました「個別施設計画」素案を拝見し、具体的な数字を目にすることにより、出生率の低下による人口減少、それに伴う税収減少などの長期的な見通しを、身近な問題として実感することができました。そうした状況の中で行政が提供するサービスの質を保つには、確かに既存のサービスありきの発想の転換や民間活力の導入など、様々な創意工夫が必要となってくるということもわかりました。 ー市民としての関心は、どこに行政としての力点を置き、長期的計画が立てられていくのかということでしょうか。各々のニーズにより、望むものは違ってくると思いますが、私は今回の計画の中で「中央図書館の建て替え」に、最も関心を持っています。それはかねてより心待ちにしていたもので、今回の計画の中に中期的計画として盛り込まれていることを知り、本当に嬉しく思いました。ただ気になるのは「減築」となっていること。全体の計画に沿った一律の措置だとしても、期待している機能を備えた図書館になるのか不安を覚えました。というのも、図書館の利用者にとって、その広さは利用しやすさに直結する大切なポイントだと思うからです。 中央図書館が果たすべき役割は多様だと思います。数多くの利用者の様々なニーズに応えることのできる、また書庫のスペースが十分に取れない分館や学校 図書館を支えることのできる、蔵書の確保。歴史的価値のある資料の保管。本を中心とした様々な取り組みにより、子育て中の家庭、障害を持つ方々、高齢者などを文化的に支えること。自宅で適切な環境を得られない児童生徒・学生等への学習環境の提供等々。また、これからの図書館は紙の資料のみではなく、電子媒体情報の提供も求められます。電子書籍を始め、インターネット検索、信頼できる情報が得られるデータベースへのアクセス、新聞記事の検索等が可能な端末など、個人では対応しきれない情報入手のツールが、だれでも使える市立図書館に準備されていれば、多くの市民にとって様々な意味での機会均等に繋がり、心強いことと思います。 文化活動・生涯学習の拠点として、こうした機能を果たし、今の手狭な図書館から利用しやすい新しい図書館にするには、床面積の確保は大切な要素に思えます。同じ蔵書数や機能だとしても、それがゆったりと空間を活かして配置されているかどうかにより、使いやすさ、居心地の良さは違ってきます。図書館を活性化する様々な企画展やイベントの開催を考えれば尚更です。 予算には限りがあるでしょうし、状況の変化で諦めなければならないことも出てくるとは思います。ただ、床面積の確保は建て替えのときにしかできません。図書館を運営する職員の皆さんが、創意工夫をし、使いやすく何度も利用したくなる図書館を作り上げるために必要なスペースの確保を、是非お願いしたいと思います。</p>	<p>○いただいたご意見は、事業を検討する中で参考とさせていただきます。 中央図書館が建設された昭和54年当時は、ユニバーサルデザイン等の考え方が取り入れられたものになっておりません。 現在、市としても、図書館は単に「本を借りられる」場だけではなく、調べごとや新たな発見や創造を生み出し、「知識基盤型社会」に対応した「知の情報拠点」としての図書館機能を果たすことを優先に考えています。 合わせて、中央図書館は市内図書館の中心的役割を担う施設であることから、建て替えに際しては、その役割が十分発揮できる広さや必要な機能を精査し、他の施設との複合化も含め将来にわたり、その時代に即した施設となるよう検討していきたいと考えています。</p>

No.	意見の種類	意見	市の考え方
3	図書館	<p>○「中央図書館」床面積減に対して、一利用者の立場からの意見です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状、かなり手狭です。児童書コーナーは書架と書架の間も狭く、書架の上にさらに本を配架せざるを得ない状況です。 ・年間の購入冊数からおおよそ今後の蔵書数も見通しが立つかと思えます。書架がどのくらい必要なのか、勉強スペースはどの程度必要か、書庫のスペースは？バックヤードは？等々様々な要素を考慮して、必要な床面積は確保して頂きたいと思えます。 ・図書館利用者や図書館員の声を反映させた計画であることを望みますし、建て替えるのであれば、より良い図書館を望みます。 	<p>○いただいたご意見は事業を検討するなかで参考とさせていただきます。</p> <p>中央図書館が建設された昭和54年当時は、ユニバーサルデザインの考え方がまだ浸透しておらず、書架の間隔が狭い設計となっています。</p> <p>また、近年蔵書数も増えていく中で、計画的な書籍購入と適正な除籍をし、蔵書管理に努めています。</p> <p>今後、広く皆様のご意見を伺いながら必要な機能を精査し他の施設との複合化も含め、市民の皆様が利用しやすい図書館づくりを検討していきたいと考えています。</p>
4	スポーツ施設	<p>○浅科地区には社会体育館がありません。小学校の行事により、3月は卒業式、4月は入学式、7月は吹奏楽コンクールへの練習など体育館が使えないときがあります。今年は、6月、7月、土曜日の体育館は、他の団体と重複してしまい、体育館は、使えません。このようなことから、浅科にも社会体育館的なものがあればとおもいます。柔剣道場は、もともと体育館ですので、バレーボールができるようになっています。</p> <p>体育館は、古いとのことですが、春日体育館、布施体育館、と比べても、そんなに違いはないとおもわれます。体育協会にも、今年お願いをしてありますが、社会体育館として残すように、再考をおねがいします。</p>	<p>○浅科柔剣道場につきましては、県立武道館の開館に伴い利用者が少しずつシフトし、柔道利用が無いことから、バレーボールやバドミントンの利用ができるよう量の撤去を行い、体育館として利用できるように対応したところですが、施設は、築39年を経過していますが、施設の劣化状況や利用状況等を踏まえて、長期の期間（令和19年度～令和38年度）で「廃止」として素案を示させていただきました。</p> <p>今後、5年ごとに計画の見直しを行う際には、その時点における施設の劣化状況や利用状況等を把握し、市民の皆様のご意見を伺いながら、慎重な検討を行う中で、方向性を見直しを行ってまいりたいと考えています。</p> <p>なお、「地域で維持管理を行うから利用していきたい。」というような場合は、維持管理費等が必要となりますが、希望される団体等があれば、協議をしてみたいと考えています。</p>
5	スポーツ施設 保養施設	<p>○昨今、新聞等で春日温泉周辺のゆざわ荘やゴルフ練習場を委託、廃止するとの情報を聞きまして非常に残念で反対したいと思えます。</p> <p>私自身春日に生まれ、先代より春日で商売を50年以上してきて春日温泉や周辺のゴルフ場等とお取引させて頂き今まで生きて参りました。</p> <p>春日温泉という観光地は私共にとって非常に大切な観光資源であり春日で商売している者、暮らしている者にとってなくてはならない存在であります。旧望月町から佐久市となっても同じことだと思えます。</p> <p>また、今まで先輩の方々が春日温泉の発展にご尽力してきた場所でもあります。その方々から、私自身春日温泉の発展を託されて参りました。残念ながら、春日の商店は後継者不足により閉店しているところが非常に多く商工会の機能も低下しており、また春日地区全体も過疎が進んで衰退しているのが現状です。</p> <p>それでも、こういった状況である場所だからこそ春日温泉という観光資源を中心に自然や今ある施設を使って知恵を出し合い発展させることにより魅力的な場所になる可能性があると思っております。そのために、私も春日地区と佐久市全体の発展のために協力していく所存であります。</p> <p>今、ある施設を無くすことや減らす事ではなく、今あるものを上手に使う事が未来に向けて必要だと考えます。</p> <p>例として、特に今この新型コロナウイルスの時代で若者のゴルフ人口が増えているとの報道がありました。それまでは、ゴルフ人口は減っていくと言われておりました。ゴルフというスポーツは老若男女誰もが楽しめる自然で行うスポーツです。女性がゴルフを始めたい、子供にゴルフをさせたい、学校でゴルフ部を作りたいという方々が増えている一方でゴルフ練習場が無い、少ないというのも現状です。</p> <p>佐久市はゴルフ場が、他の市町村に比べて非常に多い恵まれた地域と言えます。</p> <p>新たにゴルフ練習場を作らなくても、佐久市には春日温泉ゴルフ練習場という温泉地にあります。ゴルフの練習をし温泉に入って他には無い最高の場所です。</p> <p>その施設を利用しゴルフ人口を増やすと共に近隣する春日温泉やゴルフ場や馬事公苑等の観光発展、住民のスポーツ推進と健康事業をして、将来すべてが繋がり皆で協力をし、より良い佐久市にしたいと思っております。</p> <p>無くすより、あるものを活用するです！宜しくお願ひ致します。</p>	<p>○春日地域は優良な温泉資源を有するとともに、自然環境にも恵まれており、市の観光施策上、将来にわたり保持していくべき重要な区域であると認識をしています。</p> <p>こうした中、市所有の各観光施設においては、老朽化が進み、これらすべての施設を引き続き市が所有、維持管理していくことは、将来への負担を考えると極めて難しい状況です。</p> <p>ゆざわ荘や春日温泉ゴルフ練習場につきましても、観光客や地元の皆様にご利用いただき、地域の活性化に寄与してまいりましたが、近年では、利用者の減少や施設の老朽化が進み、収支の改善も困難である中で、引き続き市が所有、運営することの必然性が乏しいことから、適用手法を「民間活用(廃止)」及び「廃止」として素案を示させていただきました。</p> <p>しかし、近年、春日地域においては、民間の主導による新たな宿泊施設や、特徴ある飲食店などもオープンし、地域活性化の可能性も見えてきていますので、今後は、こうした民間事業者とも連携、協力を図り、春日温泉地域の活性化を進めてまいりたいと考えています。</p> <p>春日温泉ゴルフ練習場につきましては、適用手法を「廃止」としていますが、民間事業者から活用希望がある場合には、施設の民間活用(譲渡又は貸し付けなど)の手法も含め、施設の方向性を検討していきたいと考えています。</p>
6	スポーツ施設	<p>○佐久市の観光拠点でもあります歴史ある春日温泉地域を一層魅力ある地域にしようと経営努力しています。</p> <p>春日温泉地域では2年前より馬事公苑クラブハウスを活用し、カフェ・チーズ店舗『ボスケソ・ウマバル』の営業が始まり、また、最近では岩下大悟氏による旧職員宿舎を改修した、『山村テラス』がオープンするなど春日温泉全体の活性化に繋がる取り組みにより、春日温泉全体のイメージアップに繋がっています。</p> <p>このような中、先日、新聞報道により春日温泉ゴルフ練習場が廃止されることを知りました。</p> <p>観光資源でもありますゴルフ場が5か所も集積する望月地域にあって、春日温泉は各ゴルフ場に約15分圏内でアクセスできることから、県内外からのゴルフ宿泊客も多くいます。練習後に、『もちづき荘』で温泉入浴できる春日温泉ゴルフ練習場は他の練習場にはない魅力があり、地元住民は勿論のこと多くの利用者で賑わっています。</p> <p>春日温泉の歴史ある主要施設が廃止されることは『もちづき荘』はじめ春日温泉地地域の特性に考慮してほしいです。廃止に反対です。</p>	<p>○No.5をご参照ください。</p>

No.	意見の種類	意見	市の考え方
7	スポーツ施設	<p>○新聞報道により春日温泉ゴルフ練習場が廃止されることを知り、廃止反対の意見を書きます。</p> <p>春日温泉一帯地域は、蓼科山北麓の緩やかな地形にあることから、旧望月町時代から山林資源を有効活用した観光資源の創出の一つとして、昭和40年～50年代、望月CC、サニーCC、望月東急GC、センレン(旧佐久春日野CC)、立科GCも含めるとゴルフ場が5か所も開設され、県内有数のゴルフ場が集積する地域であります。</p> <p>このような立地の中で、温泉資源を生かし、温泉とゴルフによる観光振興を図ろうと、ゴルフ場にアクセスの良い春日温泉にゴルフ練習場が開設されました。</p> <p>春日温泉の宿泊施設とゴルフ場が連携協力して、安価でゴルフと宿泊ができる『ゴルフと温泉パック』等の旅行商品の取り組みがされていて大変好評で多くの利用者がいます。</p> <p>また、国民宿舎もちつき荘の付帯施設であるゴルフ練習場は、練習後に汗を流す温泉入浴ができる他の地域にないゴルフ練習場として人気があり、宿泊客、地元住民はもとより市内外から多くの方に利用されています。</p> <p>春日温泉の魅力アップに大きく貢献している歴史あるゴルフ練習場が廃止されることは、新過疎計画等における地域資源を生かしたにぎわいづくりに逆行します。</p> <p>私たち商工業者にとって春日温泉地域は大切な商業活動の場です。</p> <p>春日温泉地域が一層発展をするために、もちつき荘をはじめ、他の宿泊施設、馬事公苑等、多くの施設が力をあわせて地域の魅力を発信していくことが重要で皆経営努力をしています。</p> <p>佐久市の観光拠点でもあるゴルフ場を含む春日温泉地域全体が今後も魅力を発信していくためにも、地域の立地、特性を生かしたゴルフ練習場は必要な施設であります。</p> <p>春日地域は市の周辺地域に位置しますが、地域の特性、主体性を尊重していただきたい。地域の声を踏まえていただきたい。</p>	○No.5をご参照ください。
8	スポーツ施設	<p>○この度の『春日温泉ゴルフ練習場』の『廃止』について断固反対の意見を申し上げます。</p> <p>私は10年ほど前から春日温泉地区のもちつき荘、ゆざわ荘、望月馬事公苑さんにご縁があり、佐久市の中でも大変魅力的な場所であると感じてきました。</p> <p>最近では望月馬事公苑のクラブハウスを利活用したウマバルさんや、山村テラスさんが運営する木馬のワルツといった新規事業も展開されており、今後の春日温泉地区が楽しみだと感じておりました。</p> <p>一方、ゴルフ練習場の廃止を報道で知り、愕然としました。</p> <p>春日温泉は近隣施設の連携が重要であり、それぞれの施設が魅力あるサービスを提供されているからこそ、地域としての魅力があると確信しております。</p> <p>廃止理由が施設の劣化とお考えですが、実際に現場を視察などされましたでしょうか？私が足を運んだところ、入れ替わり立ち替わりで多くのお客様が打ちっぱなしを楽しんでおられました。</p> <p>現実的に運営の方も黒字だと伺っており、廃止にする理由が一切見当たりません。</p> <p>顧客が減り、赤字続きという状況なら十分に理解できますが、現実は全くの逆です。</p> <p>また廃止することでの現在の土地は管理不能となり、景観を著しく損なう可能性が濃厚です。</p> <p>私は佐久が好きだからこそ移住してきました。</p> <p>良いところもたくさんありますが、このような現実があるのかと失望したのも事実です。</p> <p>私は佐久の魅力を少しでも発信できればと考え、SNS、YouTube、ブログなどを活用しております。</p> <p>もし、本当にゴルフ練習場が廃止されるのであれば、私は断固として反対意見をインターネットも活用して訴えてまいります。以上です。</p>	○No.5をご参照ください。

No.	意見の種類	意見	市の考え方
9	スポーツ施設	<p>○日頃より、佐久市発展のため日夜を分かたぬご尽力を賜り、誠にありがとうございます。 さて、過日の信毎に春日温泉ゴルフ練習場廃止の報道がありました。 地元住民として、また多年ゴルフ練習場の愛好家として、非常に驚きをもって拝読いたしました。一方少子高齢化社会の中の公共施設の在り方についても一考の機会にもなりました。 以後、この施設がどういう意味と、価値があるのだろうかと改めて体感しようと思ひ都合をして入場しております。 市政全体に占める練習場の存在感の割合は、設置地域の居住人口やゴルフ人口の減少などもあり今では負の資産のような気がします。 加えて若者のスポーツ離れや、終息の見えないコロナ禍もあり近年経営環境は厳しいものがあるとの印象があります。 他方で、当該施設は大評判な国民宿舎もちつき荘に隣接しており、観光施設として願ってもない環境に位置しています。 練習場はかつての賑わいは薄れたにしても、はつらつとした熱心な常連客や、毎年訪れる観光避暑客の潤いの施設としても結構な人気もあり県外客と懐かしい面談も生まれています。また利用者から会場用にと柱時計や、関東在住の地元出身者からは数千球のロストボールの寄付もあったようです。 さらに近隣地域にある4～5か所のゴルフ場の最も短距離な場所にあることから、挑戦への体力・技術の調整施設として愛用され、各ゴルフ場の支配人からとの友好的一体的連携の役割も占めていることが実態です。 現在施設を担当者は、多年にわたる行政経験と、市政の重職を果たした勢いそのままに、多角的識見・人脈から客層も広範にわたり、もちつき荘の支配人とのコンビネーションよく利用者の要望にもこたえてくれてありがたいです。かつては地元住民が主のような顔ぶれでしたが最近では多様な方々の来場があり驚きで、築〇〇年等だけの政策変換はいかがなものでしょうか。 今佐久市は長野県を代表する躍進、発展があり、平穏な市民生活が続いていて本当にありがたいことです。突然な発表により市政に不信感を抱いたり、陳情や署名活動などの対立や波風は柳田市政の汚点につながります。縦割りの判断ばかりではなく、行政間の横断的な検討、市民等の参画や課題共有行動により市及び春日温泉のさらなる発展をお願いする次第です。</p>	○No.5をご参照ください。
10	スポーツ施設	<p>○先日の信濃毎日新聞の記事により、市内数十個所の個別計画を知りました。 その中に春日温泉ゴルフ練習場の廃止計画が含まれていることを知り、今回コメントさせていただきます。 春日温泉一帯は、佐久市において主要な観光拠点の1つです。 移住者との交流も盛んであり、近年人口10万人を切った佐久市のなかでも積極的に人を呼び込もうと活動している一帯でもあります。 ゴルフ練習場廃止におけるメリットにどのような事があげられるのか考えましたが思い至らなかったもので、デメリットとして考えられる事をあげさせていただきます。 ・廃止によって荒れた施設は景観を損ない、閑散とした印象を与える →春日温泉地域の活性化と真逆の方向性 ・今現在多くの利用者があり、経済的に多くの問題を抱えていない →温泉+ゴルフというこの地ならではの特色、魅力が減退 その地ならではの特色が減退する事は、佐久市へ足を運ぶ理由付けが減少する事でもあり、春日温泉一帯が... という限定的なことではなくこれからも佐久市が魅力的な市であり続けるためにも、こちらの施設『春日温泉ゴルフ練習場』は必要な施設だと感じます。</p>	○No.5をご参照ください。
11	スポーツ施設	<p>○春日温泉ゴルフ練習場の廃止案に反対いたします。 上記施設は、今後も維持管理を継続するに値する施設だと考えております。 市民がゴルフというスポーツを通じ、精神的にも身体的にも健康を維持するという素晴らしい目的があります。 毎週通っている方も多く、管理人の方も多くの来場者の名前と顔を覚えられており、憩いの場ともなっています。 利用者層を見ても小学生から高齢者まで、あらゆる年代の方が利用しており、親子や祖父孫での大切なコミュニケーションの場でもあります。 周辺には望月東急ゴルフクラブ、サニーカントリークラブなどのゴルフ場があるため、隣接のもちつき荘にもゴルフをプレーした後の宿泊客も少なくはありません。 コースを回った翌日、宿泊施設のすぐそばでゴルフ練習ができるのは、プレーヤーにとって最高の環境ではないでしょうか。 新型コロナウイルスの流行による影響で、ゴルフクラブやグリップが供給不足になっていると報じるメディアもあるほど、いまゴルフは世界的にも人気のスポーツです。 いまは市内の利用者に留まっているかと思いますが、アフターコロナの時代には県内各所、もしくは県外からの来場者が増えることでしょう。 今現在需要があつて賑わっており、今後も活況が見込める施設を、廃止するという案には納得できません。 今回廃止という案を立案された具体的な理由を教えてくださいたいです。現在公表されている資料では、何も分かりません。 施設の劣化でしょうか。事業の赤字でしょうか。民間活用という案はないのでしょうか。</p>	○No.5をご参照ください。

No.	意見の種類	意見	市の考え方
12	スポーツ施設	<p>○春日温泉地域の施設に関する意見です。 春日温泉の活性化には附属施設の充実が必要です。民間委託や払い下げ等で存続できるものは、それにより存続が必要だと思いますし、それが無理なものについては、なるべく経費のかからない方法を検討して存続をした方が良いと思います。 ゴルフ練習場についても、近隣にゴルフ場も多いので、各ゴルフ場との協議をしたり、人がボールの貸し出し料金に関わらなくても良いように、貸し出しを完全に自動販売機化するなどで経費節減を図るなどにより、存続の可能性を検討できないものでしょうか。 コロナ禍でも、屋外で密にならずに、そしてマスクをしても競技できるゴルフは、今は大変有効なレクリエーションであると思います。 コロナ禍が明けると今まで我慢していた分、観光の人出が増えるのは間違いないと思います。その時のためにも春日温泉地域のレクリエーション施設の充実・存続をした方が良いと思います。</p>	○No.5をご参照ください。
13	スポーツ施設 保養施設 図書館	<p>○個別施設計画について、ポイントとなる直観的意見を申し上げます。 今後の公共施設管理の計画に関して、佐久市は本当にすべての住民に情報開示をしてきたのでしょうか？8月18日付の信毎記事が出るまで、殆どの市民が知らない事柄と思われまます。この時点から、各分野から反響がはじまりました。 ○今回の計画は、どの様なデータや根拠に基づき策定したのか、詳しい説明が絶対必要です。 地域の生活環境や実態は、全て同様なことは絶対ありえません。その現実を、現地に足を運び活用状況の実際や区民の聞き取り調査を踏まえ、更にある一定期間の数値データを基に計画していますか？ 総務省の経費削減等の行政指導により、充実と言いながら各担当部署に指示し無理やり思い当たる施設を、数値で判断し経費削減をするかの様なやり方を感じ、残念で本当に市民の事を考えているのか憤りを感じます。 ○私はスポーツ関係の指導的立場から、地域の多様な分野と交流とコミュニケーションを深め地元住民の生涯健康で明るい社会作りの為に色々な場面で体験と現場実践して長年関わってきました。これまでに生きてきた実感として、望月地域の公共施設は市内の全施設の40パーセントが廃止対象ですが殆どの施設が地元住民の長年に渡り便利活用できる近くの公共施設なのです。単純に老朽化と耐用年数や経営悪化だけで廃止や集約して市の経費削減対象にする事柄ではありません。中でも、地区体育施設は地元住民や未来の子供達の為にも、いつでも、どこでも、だれでもが気軽に使える施設として存続させるべきです。また、緊急時や自然災害等の避難場所としての役割として大切な施設です。 ○春日温泉は今後、魅力ある観光地として発展させる為に官民一体でアイデアを出し合い、より一層の努力を推し進める地域です。最近完成した民泊施設は何の目的なのでしょう？まったく相反する状況判断にも思えます。 ○望月図書館の縮小は単に存在する形に後退し、本も限られ益々使いづらくなり発展性があるとは思えません。又、空けたスペースは何にするのですか？納得いく話し合いが必要です。 ○今回、望月地域が引き続き今年度から5年間「過疎地域持続的発展の支援に関する特別措置法」対象地域に指定されました。行政側の主観的立場ではなく市民としての客観的立場の目線で真摯に物事をとらえ、この制度を有効活用して今ある施設や交通網を整備し人口増加をはかりながら共に魅力ある地盤をつくり、満ち満ちて豊かな明るく活気ある望月にしていきたいと思います。その為に一個人として努力と協力は惜しみません。 今後、地元説明会開催を早急に行い、そしてきめ細やかで丁寧な話し合いをして、お互い歩み入りながら納得いく決定を是非ともお願いします。</p>	<p>○個別施設計画に係るタウンミーティングとパブリックコメントについては、広報誌や市ホームページ、Twitter、Facebook、LINE、佐久ネットにより情報発信しており、今後も、市政に関心をもっていただけるよう丁寧な情報発信をしていきたいと考えています。 ○公共施設マネジメントの必要性から施設ごとに「健全性・機能性(躯体の健全性や外壁・屋根・内装の劣化状況)」や「経済性(施設の収入や利用者数、稼働率、維持管理費等)」、「政策優先度(防災性や施設配置、代替性、利用者ニーズ等)」を評価した上で、基本方針と適用手法として素案をお示しさせていただいています。 ○地区の体育施設につきましては、全ての施設で築30年以上経過していますが、施設の劣化状況や利用状況等を踏まえて、中期(令和9年度～令和18年度)と長期(令和19年度～令和38年度)で「集約化」として素案を示させていただきました。 今後、5年ごとに計画の見直しを行う際には、その時点における施設の劣化状況や利用状況、避難場所としての役割、維持管理費等を把握し、市民の皆様のご意見を伺いながら、慎重な検討を行う中で、方向性を見直しを行ってまいりたいと考えています。なお、「地域で維持管理を行うから利用していきたい。」というような場合は、維持管理費等が必要となりますが、希望される団体等があれば、協議をしてみたいと考えています。 ○春日温泉につきましては、No.5をご参照ください。 ○望月図書館につきましては、利用が減少している学習スペースなどを図書館の面積から減らすもので、書架などを配置している部分のスペースは、利用者の皆様の利便性が低下しないようサービスを維持していきたいと考えています。 ○人口減少や少子高齢化が止まらない時代背景の中では、将来にわたって、適切な行政サービスを提供していくためには、しっかりと財政基盤の確保と現実な将来予測が重要だと考えています。 市民の皆様が将来にわたり生きがい豊かに暮らしていただけるよう、公共施設の最適化と適切な維持管理に努めていきたいと考えています。</p>

No.	意見の種類	意見	市の考え方
14	スポーツ施設 保養施設	<p>○春日地区には同様の施設がなく現在も春日地区の育成会や地域バレーなどにも積極的に利用されております。廃止された場合、望月総合体育館では使いたい時に予約がとれず使えなくなります。望月総合体育館に小体育館などの複数設備を拡充しない限り、現在でも望月総合体育館の利用をしたくても既利用団体により年間を通して予約が埋まっている様な状態です。一度廃止されると同様な施設を春日地区に再度設置することは将来的にも無理だと思いますし、長期利用を見据えた対応に変更願います。</p> <p>○過疎地域全体に言える事だと思いますが、子供たち、年配者も気軽にかけられる屋内スポーツ設備は各地区に絶対必要です。</p> <p>○東信地区にはゴルフ場が隣接し、比較的安い値段でプレー出来る地域は全国的にみても珍しく、また、温泉宿泊施設も30分圏内にある好立地にあります。</p> <p>そこにこのようなゴルフ練習場があり、また現在は利用されておられませんと同敷地内にはオールウェザーのテニスコートもあります。昨今のゴルフブームのあり幅広い年代、男女含めた利用者があるスポーツ施設は他にはなく、ますます利用者が増えている状況です。</p> <p>この佐久地区の豊かな環境を利用し、現在は廃止となった望月高校にゴルフ部を作ったら望月高校へも他県から入学者が増え、親も移住し人口増に寄与するのではないかなど声がありました。</p> <p>佐久地区はゴルフ環境として優れている証拠に、夏の過ごし易さもあり、プロも多数訪れて合宿しています。初優勝直前に女子プロの「笹生優花」が来ていましたし、現在も男子プロも定期的に滞在していると聞いています。</p> <p>ゴルフ練習場の施設維持は比較的安く出来ると思いますし、テニスコートは現在盛んなフットサルコートに比較的簡単に転用することが出来ると思います。</p> <p>春日温泉の泉質は全国的にも良いことは有名です。民間施設も含め、温泉+ゴルフ+フットサル+乗馬+自然などこれほどの複合的な体験ができる場所があるでしょうか？</p> <p>各施設をもっともっと充実させ、積極的にアピール・利用することで、相乗効果が生まれ佐久地域の活性化につながることは間違いないと思います。</p> <p>○体育館も含め一度無くしてしまうと、二度と同様の施設を作ることはまず出来ないと思いますので、是非、施設の長期維持とさらなる積極的活用をお願いします。</p>	<p>○春日体育館につきましては、築43年が経過していますが、施設の劣化状況や利用状況等を踏まえて、長期(令和19年度～令和38年度)で「集約化」として素案を示させていただきました。</p> <p>今後、5年ごとに計画の見直しを行う際には、その時点における施設の劣化状況や利用状況、避難場所としての役割、維持管理費等を把握し、市民の皆様のご意見を伺いながら、慎重な検討を行う中で、方向性を見直しを行ってまいりたいと考えています。</p> <p>なお、「地域で維持管理を行うから利用していきたい。」というような場合は、維持管理費等が必要となりますが、希望される団体等があれば、協議をしてまいりたいと考えています。</p> <p>○春日温泉ゴルフ練習場につきましては、No.5をご参照ください。</p> <p>○人口減少や少子高齢化が止まらない時代背景の中では、将来にわたって、適切な行政サービスを提供していくためには、しっかりと財政基盤の確保と現実な将来予測が重要だと考えています。</p> <p>市民の皆様が将来にわたり生きがい豊かに暮らしていただけるよう、公共施設の最適化と適切な維持管理に努めていきたいと考えています。</p>
15	レクリエーション・観光系施設	<p>○今回のタウンミーティングは何名が参加し、何名から意見が寄せられたのでしょうか？</p> <p>○人口増、税収増の時代に維持管理費や撤去費用などの長期的な視野をあまり持たずに作られた施設を減らしていくのは、たとえ利用者が少なくても反対意見も賛成意見も出て来て、難しいと思います。ただ前時代のろくに使ってもいない施設の維持管理費・撤去費を次世代に残しても、費用の負担は元より、現役世代や次世代の子供たちにとって上の世代や政治への不満や疑念が残るばかりです。より良い未来を作るために、今からでも削れるところは早めにガンガン削って欲しいと思います。</p> <p>○今回の計画は公共施設を畳んでいく長期に渡る内容で、ほぼ全部署に関わる施設を財政状況とのバランスを見ながら、市民の意見も取り入れつつ施設を削減していく。</p> <p>かなり難易度が高く重要度も高い計画だと思います。企画課の担当職員が委託先のコンサルよりも内容を熟知し、「公共」施設だという認識を持って業務を進めていって欲しいです。</p> <p>○新施設の建設に関しても、公共施設総合管理計画等で一定の基準を設け、数十年に渡る維持管理・撤去費用の負担予想を算出し、人口減少等も踏まえた全体の予算の見通しの中で本当に造設・建設する必要があるのか考えて欲しいです。</p> <p>○ヘルシーテラス佐久南にPOSシステムリース料等で税金を投入した13,400千円なども本来は運営費から賄うべきだと思います。指定管理制度を活用しつつ、建設費・維持管理費・撤去費を少しでも家賃等で指定管理者から回収しつつ運営の努力を続けてもらい、公共サービスの一役を担ってもらってはいかがでしょうか？</p> <p>ただし、24時間開放しているトイレの維持管理費や避難所開設等の公共サービスにかかる費用負担等は別途話し合いが必要だと思います。</p>	<p>○タウンミーティングにつきましては、4日間開催し、延べ76名の市民の皆様にご参加いただき、延べ32名の方からご意見をいただきました。</p> <p>○人口減少や少子高齢化が止まらない時代背景の中では、将来にわたって、適切な行政サービスを提供していくためには、しっかりと財政基盤の確保と現実な将来予測が重要だと考えています。</p> <p>市民の皆様が将来にわたり生きがい豊かに暮らしていただけるよう、公共施設の最適化と適切な維持管理に努めていきたいと考えています。</p> <p>○業務委託については、総合管理計画の改訂に係る税収や投資的経費の将来推計などを再度、分析・精査する作業等についての支援を委託しています。</p> <p>個別施設ごとの方針等については、委託ではなく市直営で策定を進めていますので、今後も、タウンミーティングやパブリックコメント等でいただいたご意見等を考慮し、市において検討した上で、計画に反映していきたいと考えています。</p> <p>○新施設を整備する際には、これまでと同様に、総合管理計画に定める4つの取組方針(量的見直し、質的見直し、費用負担の見直し、管理体制の見直し)に基づき、必要性も含めて検討していきたいと考えています。</p> <p>○ヘルシーテラス佐久南のリース料等につきましては、これまでの安定した運営状況に鑑み、令和4年度からは指定管理者の負担に変更します。</p> <p>また、公共性の高いトイレ等につきましても、物産販売等の利用収益が見込まれることや、道の駅としての機能を一元化することによりサービスの向上、経費の削減も図れることから、一体的な管理運営を指定管理者に委ねているところです。</p> <p>なお、利用料金及び事業運営収入による利益が過大であると認められる場合は、その取扱いについて市と指定管理者で協議を行うこととしています。</p>
16	保養施設	<p>○交流促進センターゆざわ荘の民間活用の方針が決定した場合、弊社がその後の運営を担いたく存じます。</p> <p>弊社は、主力事業は通信販売中心の小売り、WEBサイト制作、ネットショップ構築などIT関連をメインにしております。</p> <p>民間活用の方針となった課題が収入の減少とある点から、集客力やプロモーションに課題があると推測いたします。</p> <p>弊社自身が宿泊・研修施設等の運営を行った経験こそございません。</p> <p>しかし、本来の施設の趣旨が観光施設ではなく交流施設という資源を活かし、これまでに培ってきたインターネットを活用した、現代にマッチした集客施策を駆使し、ゆざわ荘を春日温泉地域と首都圏を結ぶ、文字通りの交流センターとして復活させるよう尽力いたします。</p> <p>本件に関しては市の方向性が確定しない限り弊社としても具体的な行動に移すことはできませんが、一方で少しでも可能性がありましたら新規事業としてリソースを割く所存です。以上です。</p>	<p>○交流促進センターゆざわ荘につきましては、都市と農村の人々との交流を目的に平成8年から多くの皆様にご利用いただけてまいりました。</p> <p>今後、個別施設計画の素案としてお示しさせていただいたとおり、民間活用を進めていくに当たっては、サウンディング型市場調査を実施し、市場性の有無やアイデア、ニーズ等を把握する中で、ご提案いただいた内容も含めて、方向性を検討していきたいと考えています。</p>

No.	意見の種類	意見	市の考え方
17	その他教育系施設	<p>○浅科給食室を残してほしい。 市内各小、中学校に給食室を配置してほしい。</p> <p>○保育園→小学校→中学校と地域食育を連動させてほしい。 業務委託等、民間の力を借りるのでなく、子育て支援、学校教育、農政等、佐久市で地域食育に取り組んでほしい。</p>	<p>○浅科センターは、老朽化が顕著であり、今後対策が必要になることや、佐久市公共施設等総合管理計画を踏まえ、公共施設の有効活用の観点から、望月センターとの集約化を考えています。</p> <p>また、浅科センターと望月センターの小中学校の児童生徒数は減少しており、今後も減少が見込まれています。距離が近く、浅科センターより新しく建設された望月センターで、浅科センター分も併せ給食が提供できることから、集約することは可能と考えています。</p> <p>なお、佐久市の給食施設の在り方については、昭和41年から共同調理方式を基本方針として、運営・施設整備を行っており、各小学校に給食室を設置することは考えていません。</p> <p>○佐久市では、安心安全な農産物を学校給食へ供給する学校給食応援団が旧市町村ごとに4団体組織され、交流給食会や農業体験により、食への理解向上や郷土愛の醸成など子どもたちへの食育が行われています。</p> <p>また、地域食育について、小学校、中学校では栄養教諭、栄養職員による各校クラス訪問などが行われ、それぞれに沿った食育の対応を行っており、今後も食育の推進を図ってまいります。</p>
18	その他教育系施設 集会施設	<p>○タウンミーティングでの意見概要と市の考えの中に、今後「市民に最終的な案としてお示し」、その後は都度、意見を聞く、とある点について。</p> <p>個別の施設での説明の際、「案」は地元の方々(責任者だけでなく、利用する多くの方々)との話し合い・意見集約の中で変更はあり得るものと明示してほしいです。</p> <p>コロナ禍が終息し、いざ市民活動や観光などに出ていこうとした時に頼れずに萎んだ形になってほしくないです(雇用維持の点でも!)、公共施設は「誰にでも使える」ことが重要だと思っています。</p> <p>○老朽化が理由に挙げられている施設の中で、特に浅科の給食センターについて。</p> <p>子どもと(そこにずっといる)給食職員の距離が近いことは、アレルギー他子どもの食生活に目が届くこと、地元の生産者と子ども達の間を繋げること、など目に見える以上のメリットがあり、子どもを地域全体で支える力となっていると確信しています。</p> <p>改修・補修で乗りこえられないか(例えば、協和保育園について、閉園のしばらく前に補修に関わった方が「これで何十年か持つ、というつもりで補修したんだけどな」といっていたものです)、長期休みを利用した移転スケジュール等で何とかできないか、などできる限りの策を用い残して頂きたいです。</p> <p>○また、長らくお世話になっている『桜ヶ丘地域ふれあいセンター』について。</p> <p>子どもが幼い時、サークル登録しておくで無料で使える場があるのは、まだ働いていない母たちにとって大変ありがたかったです。何より、佐久に越してきたばかりだった私には、サークルに誘ってもらって初めてこの地に根づけたという点が大きいです。</p> <p>ここが地域で引き受けるのでなければ廃止になると、ここを拠点としてきた他の方々の活動も維持が難しくなるだろうと思います。</p>	<p>○今後、策定作業を進めていく中においては、人口減少に伴う税収や利用者数の減少見込みを踏まえ、財政的にも持続可能な施設規模を堅持していくという大原則を維持しつつ、関係者や市民の皆様からいただいたご意見を考慮し、各施設の方向性を見直すことも必要と考えています。</p> <p>市全体の全280施設のうち、特に、10年、20年先を見据えた中期、長期で対策を実施する施設の方向性につきましては、具体的な対策時期における社会情勢やニーズ、利用状況の変化を捉え、5年ごとの総合管理計画の改訂に合わせて見直してまいります。</p> <p>なお、見直しの際には、改めて市民の皆様からご意見を伺う機会を設け、慎重な検討を行う中で、方向性の見直しを行ってまいりますと考えています。</p> <p>○浅科センターは、昭和57年に建設され既に39年の経過とともに、小中学校の児童生徒の数は減少しており、今後も減少が見込まれています。</p> <p>また、佐久市公共施設等総合管理計画をふまえ、公共施設の有効活用の観点から、浅科センターを望月センターへ集約することを考えています。</p> <p>地域の食育については、安心安全な農産物を学校給食へ供給する学校給食応援団により、地元食材が提供されております。この学校給食応援団の活動は、センター集約後も継続していきたいと考えています。</p> <p>○桜ヶ丘地域ふれあいセンターにつきましては、「民間活用(廃止)」として素案をお示しさせていただきましたが、今後、地域への移管も含めて協議を進め、施設の方向性を決定していきたいと考えています。</p>